

論文指導教員紹介

※2022年度については変更となる場合があります。

※**後**は後期課程の指導を担当する教員

小野瀬雅人 おのせ まさと 教授 **後**



○プロフィール 1987年筑波大学大学院博士課程心理学研究科単
位取得退学。教育学博士(筑波大学)。2014年本学に着任。日本教
育心理学会代議員、日本教材学会常任理事。主な著書は『教科
心理学ハンドブック』(共編著)、『学校心理学ハンドブック第2版』(共
編著)、『教育・学校心理学』(編著)など。

【専門・研究分野】 教授学習心理学。教科学習の効果的指導や授業を構成する諸要因の
解明とそれに基づく授業デザインに関する実証的研究。

阿部真美子 あべ まみこ 教授 **後**



○プロフィール 1975年東京教育大学大学院教育学研究科博士課
程単位取得満期退学。教育学修士。山梨県立大学教授等を経て、
2014年本学に着任。主な著書は『自発的活動の原理』、『アメリカの
幼稚園運動』(共著)、『乳幼児の発見と保育の歩み』(単著)、
『OECD保育の質向上白書—人生の始まりこそ力強く:ECECのツル
ルボックス』(共訳)など。

【専門・研究分野】 近代幼児教育の理論および実践の研究。

大成哲雄 おおなり てつお 教授



○プロフィール 1994年東京芸術大学大学院美術研究科修了。美
術学修士。「大地の芸術祭」などの国際展や地域のアートプロジェ
クトを多数実施。アートと教育の実践研究を行っている。2005年本学
に着任。

【専門・研究分野】 美術、美術教育。

北川慶子 きたがわ けいこ 教授 **後**



○プロフィール 1979年東洋大学大学院社会学研究科博士課程修
了。博士(社会福祉学)。佐賀大学教授を経て、2014年本学に着任。
佐賀大学名誉教授、元理研ダイバーシティ推進室アドバイザー、
ISCEN学会日本代表、アメリカ老年学会フェロー、国際コンテンツ学会
フェロー。主な著書は、『高齢期最後の課題』(単著)など。

【専門・研究分野】 防災・減災に関し、アジアでの学際的国際研究、日本、韓国、フィリピン、ネパ
ールにおける要援護者と児童に対する防災教育、ダイバーシティと社会福祉サービスに関する研究。

齋藤有 さいとう ゆう 講師



○プロフィール 2014年お茶の水女子大学大学院人間文化創成科
学研究科博士後期課程修了。博士(人文科学)。(株)ベネッセコーポ
レーション子どもちゃれんじモニター調査員やルーテル学院大学総合人
間学部助教などを経て、2015年本学に着任。日本発達心理学会など
の会員。主な著書は『子ども家庭支援の心理学』(共著)など。

【専門・研究分野】 専門は発達心理学。主に絵本を介した親子の相互作用の観察調査や、親の絵本
選択に関する質問紙調査から、絵本を介して親子の関係がどのように発達するかに着目、研究している。

沢崎真史 さわざき まふみ 教授



○プロフィール 上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士前期課
程修了。文学修士。上智大学などを経て、1999年本学に着任。日本心
理臨床学会などの会員。主な著書は『学生のための心理相談』(共
著)など。

【専門・研究分野】 思春期・青年期におけるキャリア発達に関する研究、保育者養成におけるコ
ミュニケーションに関する研究。不登校支援に関する研究。

相良順子 さがら じゅんこ 教授 **後**



○プロフィール 1999年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
博士課程修了。博士(人文科学)。お茶の水女子大学助手を経て
2001年本学に着任。日本発達心理学会などの会員。主な著書は
『子どもの性役割態度の形成と発達』(単著)、『保育の心理学』(共
著)、『発達心理学と臨床』(共編著)など。

【専門・研究分野】 生涯発達心理学・乳幼児の対人行動の発達に関する研究、幼児から児
童期の性役割の発達、思春期の自己概念、中年期の幸福感に関する研究。

有働玲子 うどう れいこ 教授 **後**



○プロフィール 1978年東京学芸大学教育学研究科修士課程修了。
2009年兵庫教育大学連合大学院博士課程修了(言語系)。博士(学
校教育学)。主な著書『国語・音声・読書の指導』(編著)、『声の復権—教
室に読み聞かせを!』、『話しことは教育の実践に関する研究』(単著)論文
『昭和30年代のこぼの教育—西成瀬小学校の指導より—』(解釈第
66(5,6)通巻714, 53-62, 2020-6)。解釈学会・全国大学国語教育学
会・日本国語教育学会・日本文学協会などの会員。

【専門・研究分野】 国語教育学、話しことは教育の実践研究。

奥村典子 おくむら のりこ 教授 **後**



○プロフィール 2012年お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研
究科博士課程修了。博士(社会科学)。お茶の水女子大学RF、関東短期大
学講師を経て、2016年より現職。日本教育学会、日本保育学会などの会員。
主な著書は『動員される母親たち』(単著)、『保育・教育課程総論(改訂版)』
(共著)、『保育原理—はじめて保育の扉をひらくあなたへ—』(共著)など。

【専門・研究分野】 近代日本の教育および保育制度・政策の研究。

金 瑠淑 きむ ひよんすく 准教授



○プロフィール 1993年筑波大学大学院修士課程地域研究科
地域研究専攻修了。修士(地域研究)。筑波大学大学院博士課程教
育学研究科単位取得満期退学。2010年本学に着任。日本カリキュ
ラム学会会員、日本児童英語教育学会会員、韓国日本教育学会国際理
事。主な著書は『異文化間コミュニケーションの視点からみた小学校の
英語カリキュラム—その意義と問題点—』(単著)など。

【専門・研究分野】 小学校英語カリキュラム開発、カリキュラム研究、日韓比較研究、小学校英
語教員養成カリキュラム開発

腰川一恵 こしかわ かずえ 教授 **後**のみ



○プロフィール 2003年筑波大学大学院博士課程心身障害学研
究科修了。博士(教育学)(筑波大学)。保健所の心理相談員、特別支援
学校教諭などを経て、2005年本学に着任。日本発達障害学会評議員、
日本発達障害支援システム学会評議員。主な著書は『一人ひとりの
ニーズに応える保育と教育』(共著)など。

【専門・研究分野】 知的障害児の遊びの発達や支援、特別支援教育コーディネーターの養成
に関する研究。

鈴木由美 すずき ゆみ 教授



○プロフィール 1997年筑波大学大学院教育研究科修士課程カウ
ンセリング専攻修了。筑波大学大学院人間総合科学研究科生命シス
テム医学専攻博士課程単位取得満期退学。修士(カウンセリング)。
2000年本学に着任。日本カウンセリング学会理事。近著『親の話し
方・接し方』(単著)。

【専門・研究分野】 大学生のイラショナル・ビリーフ研究。若い女性のうつ・摂食障害における
知行動療法に関する研究。認知機能改善のメカニズムと亜鉛の研究。

永井 純 ながい じゆん 教授



○プロフィール 1967年東京教育大学体育学部体育学科卒業。体育学士。メキシコオリンピック大会800M日本代表。筑波大学大学院修士課程長、筑波大学体育専門学群長、環太平洋大学副学長などを経て、2012年本学に着任。2013年から日本学生陸上競技連合専務理事。

【専門・研究分野】 スポーツコーチング論、スポーツイベント論、オリンピック史論。

長江 曜子 ながえ ようこ 教授



○プロフィール 明治大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。共立女子大学大学院家政学研究科人間生活学専攻後期課程修了。博士(学術)。博士論文は、「人間の死後生活空間としての墓地の永続管理の研究」。主な著書に「欧米メモリアル事情」(単著)、「平野謙研究(正宗白鳥)」(共著)、「世界のお墓文化紀行」(監修)。

【専門・研究分野】 生涯学習、特に地域連携・まちづくりに関する研究。日本と世界の葬送文化研究(比較葬送文化研究)、葬送文化を視点とした児童文化財としての絵本の研究(いのちの大切さを伝える)。

南部 昌敏 なんぶ まさとし 教授 後のみ



○プロフィール 1973年東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了。教育学修士。東京都立小学校、上越教育大学教授などを経て、2014年本学に着任。日本教育工学会名誉会員、日本教育メディア学会会員、日本教科内容学会会員、日本教育工学会評議員など。

【専門・研究分野】 教育学、教育方法学、メディア教育、情報教育。

西園 政史 にしぞの まさし 准教授



○プロフィール 2013年兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科博士後期課程修了。博士(学校教育)。保育園、幼稚園、小学校や地域住民に対するワークショップを多数実施。2015年本学に着任。主な著書は「図工・美術教育へのアプローチ 造形教育の手法 えがく・つくる・みる」(共著)など。

【専門・研究分野】 幼児造形・美術教育、教科教育(図画工作・美術)、教育哲学、美術と学校・社会とのつながりに関する研究。

原田 正平 はらだ しょうへい 教授 後のみ



○プロフィール 1980年北海道大学医学部医学科卒業。博士(医学)(北海道大学)。国立成育医療研究センター研究所室長などを経て、2016年本学に着任。日本小児科学会、日本内分泌学会などの会員。主な著書(分担執筆)は「わかりやすい子どもの保健第三版」(同文書院)など。

【専門・研究分野】 タバコ規制・健やか親子21・新生児マスキューニング・子どもの傷害予防・小児慢性特定疾病など小児保健、小児栄養に関する研究。

東原文子 ひがしはら ふみこ 教授 後のみ



○プロフィール 1993年筑波大学大学院修士課程教育研究科障害児教育専攻修了。筑波大学助手、聖徳大学講師、筑波大学講師を経て、2010年より現職。博士(心身障害学)(筑波大学)。特別支援教育士SV、学校心理士SV、臨床発達心理士。

【専門・研究分野】 知的障害児や発達障害児の心理・教育的アセスメント。典型発達児や障害児へのICT等を活用した学習指導に関する教育心理学的研究。

増井 三夫 ますい みつお 教授 後のみ



○プロフィール 1975年東京教育大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。教育学博士(筑波大学)。主な著書は「ブレイク近代公教育成立史研究」(単著)、「公共性・ナショナリズムと教育」(共編著)、「教育実践学の構築」(共著)、「教育実践から捉える教員養成のための教科内容学」(共編著)など。

【専門・研究分野】 社会における人間形成の歴史社会学研究、多様な社会的実践の質的・量的研究、教科内容学の研究。

宮川 三平 みやかわ さんぺい 教授 後のみ



○プロフィール 1973年東京慈恵会医科大学医学部卒業。医学博士(東京慈恵医科大学)。日野市立病院・副院長などを経て、2006年本学に着任。日本小児科学会などの会員。主な著書は「子どもの食と栄養」(共著)など。

【専門・研究分野】 子ども達の健康(特に心の健康)と食生活習慣との関連についての研究。子ども達のすこやかな成長・発達に必要な栄養学上の諸問題に関する研究(肥満、食の安全など)。

森 貞美 もり じよんみ 教授



○プロフィール 2001年筑波大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。修士(教育学)。東京成徳大学を経て、2005年本学に着任。日本教育経営学会、日本比較教育学会、日本教師教育学会などの会員、国際幼児教育学会副会長。主な著書は「現代学校教育論」(共著)など。

【専門・研究分野】 教育経営学、比較教育、教師教育。学校の組織文化に関する研究、校長のリーダーシップ、教員養成、幼稚園評価に関する日韓比較研究など。

藪中 征代 やぶなか まさよ 教授 後のみ



○プロフィール 2003年聖徳大学大学院児童学研究科博士後期課程修了。博士(児童学)。文部省メディア教育開発センター特別共同利用研究員を経て、2003年本学に着任。主な著書は「新版 保育内容・言葉ー乳幼児のことばを育む」(共著)など。日本教材学会理事。

【専門・研究分野】 教育心理学、言語心理学、教科教育学。乳幼児期を起点とした相互作用の縦断研究等を通して、個人の発達や心理、保育の場における相互作用の在り方、子ども観、表現の形成過程などの研究。

山崎 奈々絵 やまざき ななえ 准教授 後のみ



○プロフィール 2010年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程満期退学。博士(社会科学)。東海大学課程資格教育センターなどを経て、2014年本学に着任。教育史学会、日本教師教育学会、日本教育方法学会などの会員。主な著書は「戦後教員養成改革と「教養教育」」(単著)など。

【専門・研究分野】 日本教育史、教師論、教育制度、教育政策。

横井 葉子 よこい ようこ 准教授



○プロフィール 2020年大阪府立大学大学院人間社会学研究科博士後期課程満期退学。修士(社会福祉学)。神奈川県教育委員会などのスクールソーシャルワーカーを経て、2020年本学に着任。東京都教育委員会などのスクールソーシャルワーカースーパーバイザーを務める。主な著書は「エビデンスに基づく効果的なスクールソーシャルワーク」(共著)など。

【専門・研究分野】 スクールソーシャルワーク、学校における子ども虐待の予防とケア、不登校児童と家庭への支援